

# 大 盤 石

八王子市立四谷中学校  
学 校 だ よ り  
令和8年9月11日



<http://hachioji-school.ed.jp/yotyj/>

## 「言葉の重み」

今月は9月中旬に中間テストがあります。夏休み明けテストもそうですが、何事も取り組んでみて結果が出ると自信になります。もし、取り組んで結果が出ないとしても、貴重な経験が残り、次につながります。

困るのは、この機会を活かせず何の取り組みもしないことです。

さて、今回は、「言葉の重み」について話をします。「言葉」には、大きく二つに色分けされると考えます。

一つめは、「心が明るくなる言葉」です。「ありがとう、頑張ったね、よくやったね・・・」などの言葉です。こんな言葉を友達から声をかけてもらえると元気が出てきますよね。

では、逆に「心が暗くなる言葉」は・・・。「馬鹿、あほ、うざい、きもい」などです。これらの言葉は、人をとても悲しく嫌な気持ちにさせます。

ところで、校長先生は子どもの頃、とても嫌な思い出があります。それは、小学校の遠足のときの話です。母親がつくったお弁当をクラスの子たちからかわれたことです。もう、40年ほど前の話ですが、あの時の悔しさ（心の痛手）は今でも、私の心に鮮明に残っています。言葉の暴力は、40年以上たっても忘れません。消えません。人の発する言葉というのは、たとえ一言でも、自分に悪気がなくても、時には相手をひどく傷つける場合があるのです。

「言刃(ことば)」と言われていて、「言葉が時に人を傷つける刃になる。刃物の傷は治るけど、言葉で切られた心の傷は治りにくい。」という意味だそうです。

四谷中の生徒の皆さんには、「ありがとう、頑張ったね、よくやったね・・・」など人を元気にさせる、勇気を与える「明るい言葉」を大切にする生徒になってほしいと心より願っています。

始業式でも伝えましたが、2学期は、自分の目標に向かって挑戦しながら、今回話した明るい言葉かけを大切に生活してください。

## 生徒会の取組より

### 歌うま～四谷のど自慢大会～

昼休みに開催している、生徒会主催の体育館開放レクは、学年交流を促し、いじめのない学校を目指すための取り組みの一つでもあります。今回は、歌うま～四谷のど自慢大会～を開催し、総勢 12 人の生徒たちが自分たちの持ち曲を披露しました。会場の体育館は、たくさんの生徒が集まり、開催日全て盛り上がって終了しました。

また、先日の生徒会朝礼で、参加者全員に表彰状が渡されました。今後の体育館開放レクにも参加し、学校を盛り上げてくれることを期待しています。



## ★重要なお知らせ★

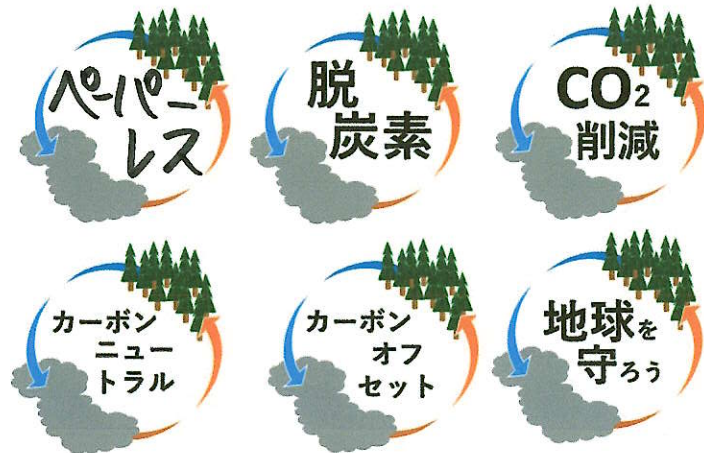
2050年 二酸化炭素ゼロへ  
八王子市ゼロカーボンシティ宣言

学校周辺(町会・自治会・各種団体)への学校だよりの定期配布を3学期1月号よりホームページ閲覧の形式に変更させていただきます。

私たちは八王子市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、2050 年脱炭素社会に向けて、ゼロカーボンシティの実現の方向性を示し、市民・事業者・市が一体となって地球温暖化対策に取り組めます。そのためには、身近なところから一つ一つの行動変容が大切です。四谷中学校区に所属する小中学校では、「地球温暖化対策の基本目標達成へ向けた取組」における、「⑤ゼロカーボンのまちづくりの推進」に掲げられた「地域づくりを通して、ゼロカーボンシティ実現に関する意識啓発

と行動の変容の促進」に応じて、ペーパーレスの推進とデジタルリソースの活用を実践していきます。

本校では 2027年1月より「学校だより」の近隣町会並びに関係組織に向けた定期配布をとりやめ、学校ホームページの充実と情報発信に努めて参ります。



「より開かれた学校」と「地域に根差した四谷地区の子どもたちの未来」を共に地域の皆様と考えていきたいと思ひます。